

## 週報①

### 広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況

検出菌 ウイルス	2023年												2024年									
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月 ~1日	9月 ~8日	9月 ~15日	9月 ~22日	9月 ~29日
カンピロバクター	63	57	67	75	49	29	47	43	65	20	24	38	25	57	50	39	41	6	12	15	6 (11)	6
病原性大腸菌	103	120	108	102	56	52	49	80	102	43	61	105	92	79	76	83	70	18	13	23	15 (18)	13
腸管出血性大腸菌	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0	3	1	0	1	2	1	6	0	0	1	0 (1)	0
サルモネラ	7	7	13	25	6	12	15	6	9	4	4	2	7	5	8	12	29	4	2	5	2	0
黄色ブドウ球菌 MSSA	14	21	8	12	15	18	21	18	16	6	4	16	4	12	21	11	17	2	3	6	3 (9)	4
黄色ブドウ球菌 MRSA	15	14	10	11	11	9	5	9	16	8	6	12	6	3	10	8	6	3	5	4	3 (6)	3
腸炎ビブリオ	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	4	8	2	1	0	2	0	0	0	0	0	1	3	1	5	0	1	0	0	0
ロタウイルス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0
ノロウイルス	1	1	0	0	0	0	0	0	4	9	20	10	3	4	0	1	1	0	0	1	0	0

( )は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

## 週報②

### 広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和6年第39週(9月23日~9月29日)

#### 2. 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	5	結核	5	1			1			3
三類	4	腸管出血性大腸菌感染症	4					3		1
四類	2	日本紅斑熱	1							1
		レジオネラ症	1						1	
五類	10	アメーバ赤痢	1		1					
		カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	1						
		侵襲性肺炎球菌感染症	2					1		1
		百日咳	1					1		
		梅毒	5	1				4		

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市 西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町  
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町 北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

■コメント

1 マイコプラズマ肺炎

定点当たり6.83人の報告があり、多い状況が続いています。小児を中心として流行する呼吸器感染症ですが、成人の報告もみられます。長引く咳が特徴で、感染経路は飛沫感染と接触感染です。手洗いの励行、咳エチケットなど、感染予防対策を心がけましょう。

2 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

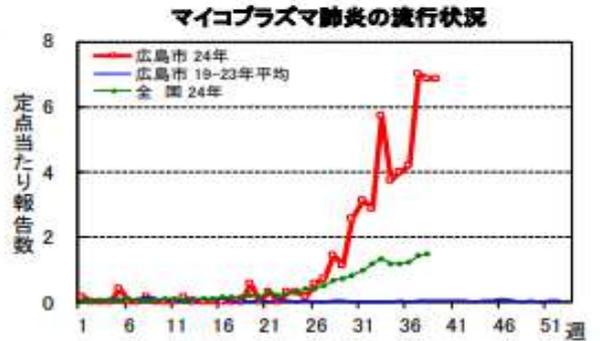
定点当たり1.53人の報告があり、前週と比べるとほぼ横ばいです。引き続き、基本的な感染予防対策に取り組みましょう。

3 百日咳

今年の累計は14件となりました。

4 腸管出血性大腸菌感染症

今年の累計は25件となり、既に昨年の年間報告数16件を上回っています。夏から秋にかけて報告数が多くなる傾向があり、注意が必要です。感染予防のため、加熱が必要な食品は十分に加熱し、生野菜は十分に洗いましょう。また、調理の前、食事の前、トイレの後などは、せっけんと流水で手を洗いましょう。



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号	急増減		前週と比較しておおむね1.2以上の増減
												急増	急減	
インフル	インフルエンザ	7	0.19	1.00		小児科	ヘルパンギーナ	3	0.13	1.01		急増	急減	前週と比較しておおむね1.15～2の増減
	新型コロナウイルス(COVID-19)	55	1.53		→		流行性耳下腺炎	-	-	0.03		急増	急減	前週と比較しておおむね1.1～1.5の増減
小児科	RSウイルス感染症	4	0.17	0.77		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-		急増	急減	前週と比較しておおむね1.1～1.5の増減
	咽頭結膜熱	2	0.09	0.20			流行性角結膜炎	7	0.88	0.38		急増	急減	前週と比較しておおむね1.1～1.5の増減
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	43	1.87	0.95	↑	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-		急増	急減	前週と比較しておおむね1.1～1.5の増減
	感染性胃腸炎	61	2.65	2.23	→		無菌性髄膜炎	-	-	-		急増	急減	前週と比較しておおむね1.1～1.5の増減
	水痘	6	0.26	0.05			マイコプラズマ肺炎	41	6.83	0.03	→	急増	急減	前週と比較しておおむね1.1～1.5の増減
	手足口病	50	2.17	1.43	↔		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-		急増	急減	前週と比較しておおむね1.1～1.5の増減
	伝染性紅斑	-	-	0.09		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-		急増	急減	前週と比較しておおむね1.1～1.5の増減	
	突発性発しん	4	0.17	0.26							急増	急減	前週と比較しておおむね1.1～1.5の増減	

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	6

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
3	腸管出血性大腸菌感染症	3	25	20歳代・O157・2人、30歳代・O157・1人
5	侵襲性肺炎球菌感染症	1	8	10歳未満
5	梅毒	4	122	20歳代・1人、30歳代・1人、50歳代・2人
5	百日咳	1	14	40歳代